



モルタル袋の断面

製品規格

製品規格			ネット				不織布	備考
幅	長さ	袋間隔	素材	形状	目合	色		
1m	6m	30cm モルタル袋は90cm間隔	ポリエチレン	2重編ネット	12×20mm	ブラック	ポリエステル	モルタルの品質低下を防ぐため 乾燥袋を装着しています

施工手順

- ①のり面の雑草木、浮土砂、浮石などを除去し、マットが密着するよう清掃を行う。
 - ②のり肩部を20cm程度巻き込み、不織布の付いている面をのり面へ密着するように展開する。
 - ③左右の重ね幅は2cm程度、上下の重ね幅は10cm程度とする。
 - ④マットは植生基材袋、モルタル袋を等高線状に展開する。
 - ⑤所定本数のアンカー・止め釘を規定の間隔・箇所に打ち込み密着させる。モルタル袋は、アンカー・止め釘で貫いて設置する。
 - ⑥原則としてモルタル袋の端部は、上下に重ねアンカーにて打設する。
- 注1) マット展開後、モルタル袋が固化する前に直ちにアンカー・止め釘にて打設ください。
- 2) アンカーはモルタル袋と一緒に一体化させるため、原則として異形棒鋼(D10)を使用ください。
- 3) D10より大きいアンカーを使用する場合はモルタル袋をかかえるように設置ください。
- 4) 降雨・強風時の施工は避けてください。

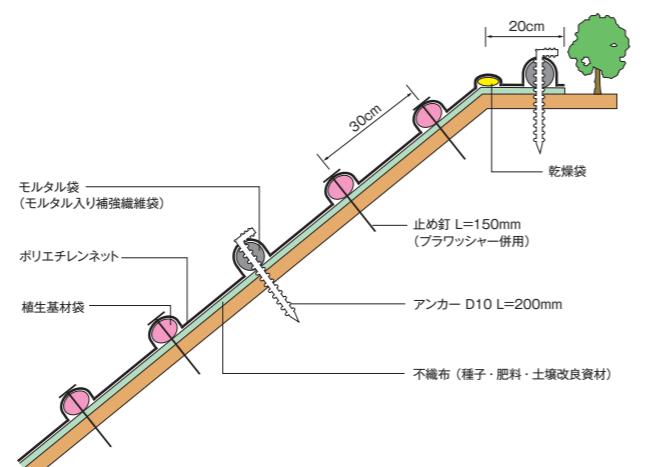
施工時の留意点

- ①モルタルの特性上、できるだけ暑中、寒中時の施工は避けください。
 - ②製品の開封時および施工時にセメントが飛散するがあるため、保護具(保護メガネ、手袋、マスク等)の着用をお願いします。
 - ③ドリル削孔をする場合、モルタル袋を直接削孔しないでください。
- 注) 開封した製品はその日のうちに使用してください。

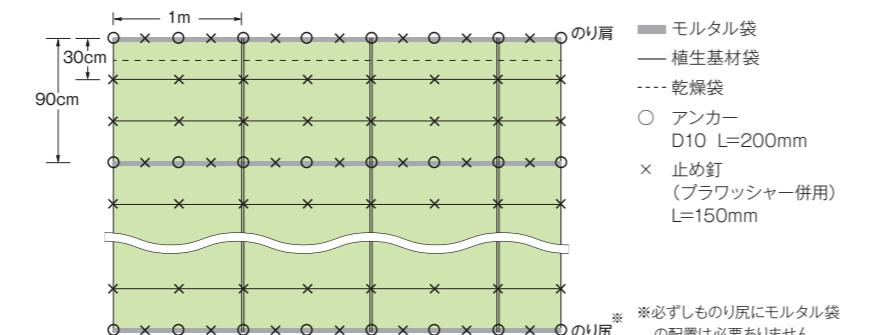
保管時の留意点

- ①日陰で風通しのよい乾燥した場所に、床を高くして置いてください。
- ②製品は専用の梱包袋で密封しています。湿気が入らないように破れに注意してください。

張付方法



アンカー・止め釘打ち込み位置



使用材料

名称	規格	単位	数量	摘要
キョウジンガー	1m×6m、モルタル袋付	m ²	120	プラワッシャーは含まず
アンカー	D10 L=200mm	本	252	
止め釘	L=150mm (プラワッシャー併用)	本	702	

アンカー・止め釘規格、打込み位置については標準として示しておりますので、現地条件に合わせて適宜対応ください。



日植の防災緑化工



緑化基礎工付 植生工 キョウジンガーエ

(特許出願中)

植生工+モルタル袋の
新しい緑化基礎工付 植生工。
その名も“キョウジンガー”！

緑化基礎工となるモルタル袋は、のり面の凹凸に密着したまま固化し、生育基盤の安定化をはかることができます。そのため、急勾配の軟岩のり面でも安定した緑化を行うことができます。



緑化基礎工(モルタル袋)の3つの目的

生育基盤の 安定化



生育基盤の 改善



厳しい 気象条件の 緩和



モルタル袋は、のり面の凹凸に密着したまま固化し、ネットとの複合効果により生育基盤の侵食・移動を防止します。

モルタル袋が植生の基盤となる小段を形成し、植物が永続しやすい環境を作ります。

モルタル袋とアンカーピンの一体化構造により、植物の発芽生育に支障を与える凍上などの要因を緩和します。

キヨウジンガーエとは、 緑化基礎工付 植生工です。

緑化基礎工は、植生工を施工する場合にそれ単独では施工が困難な場合に採用する構造物工であり、ネットや吹付枠等を用いて植物の生育環境を整備するものである。

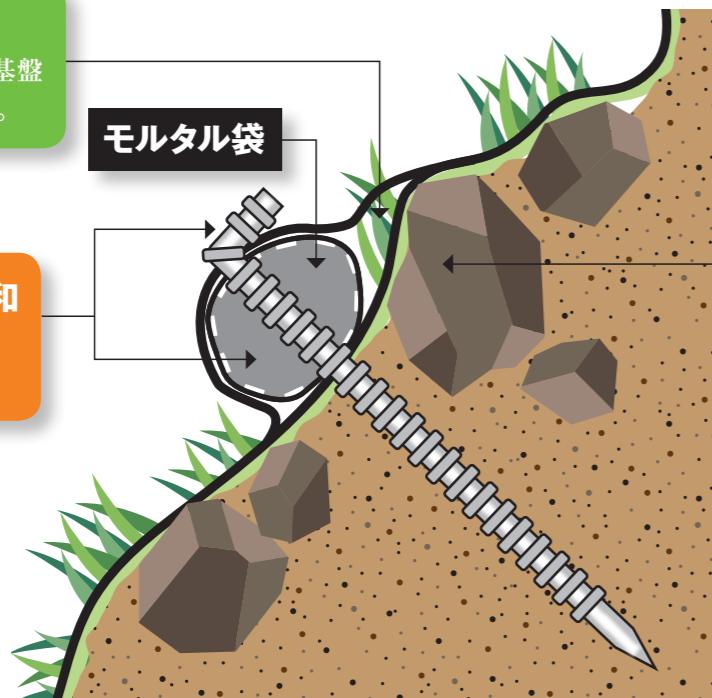
道路土工・切土工・斜面安定工指針(平成21年度版)P.205引用

生育基盤の改善

モルタル袋が、植生の基盤となる小段を形成します。

厳しい気象条件の緩和

モルタル袋とアンカーピンの一体化構造です。



生育基盤の安定化

モルタル袋が小落石を防止します。

肥料袋の課題



時間の経過とともに袋内の基材が縮小し、生育基盤としての効果が得られない例。



凍上により浮いた止め釘。凍結・融解作用によってのり面の侵食が大きくなっています。

モルタル袋



モルタルとアンカーピンが一体化した構造になるため、凍上などを抑制します。

適用のり面



風化の進んだ軟岩のり面



侵食を受けやすいのり面(シラスなど)



急勾配のり面

施工事例



長野県(植生基材マットとの比較)



山梨県



京都府



岡山県



青森県(植生状況)



新潟県(植生状況)